



市HP

市公式SNS

# なばり

2021年(令和3年) 5月10日発行

主な内容

- 2...名張能楽祭、地域おこし協力隊
- 3...名張クリーン大作戦2021
- 4~5...ウォーキング、ひまわり
- 8...新型コロナワクチン、6月の相談

◎今号は、商工会議所からのプレミアム付商品券などについてのお知らせを折り込んでいます

⚠ 催しへの参加は、マスク着用など感染防止にご協力ください(催しは中止・延期の場合あり)

発行/名張市秘書広報室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎ 0595-63-7402 FAX 0595-64-2560 ✉ pr@city.nabari.mie.jp



## 次代につなぐ、故郷の誇り。

30年の節目を迎えた「名張子ども狂言の会」

初披露となる狂言「蟹山伏」を真剣な表情で稽古する子どもたち。美旗地域の小学生から高校生までの13人が伝統芸能に親しんでいる。

子ども狂言の会の稽古(月に1~2回)に狂言師の茂山宗彦さんが、京都から指導に訪れる。

名張子ども狂言の会 創立30周年記念事業

名張能楽祭、狂言を楽しむ、[詳しくは2ページ]

岩崎直友さん



素晴らしい経験を親子で

私も小学校のころ、狂言をしていました。今は、娘たちも近所のお兄ちゃん、お姉ちゃんの真似ごとをしながら、狂言の台詞などを家で口ずさんでいます。地域の皆さんの協力もあって、親子で、素晴らしい経験ができています。すごくありがたいなと思います。

狂言をしていることは、自慢で誇りに思う

稽古に来ると、いろんな年齢の子がいて、ワイワイ楽しい！先生は優しく教えてください、狂言の台詞や動きがうまくいったときは嬉しい。大きな舞台に立たせてもらったこともあり、狂言をしていることは自慢で誇りに思います。これからも続けていきたいです。



名張能楽祭で「蟹山伏」を披露  
柳島千乃さん(中3) 竹島舞桜さん(中2) 米本奈津希さん(中1)

名張は伝統芸能に触れられる貴重な場所

大切にしたいのは、子どもたちの自主性。叱らず、楽しい教室にすることを心がけています。これまで海外や全国各地での大きな舞台もありましたが、子どもたちは、装束を付けて、舞台が整ってくるとスイッチが入るんです。実は、子どもたちよりも私の方が緊張しているかもしれませんね。

名張は、子どものころから伝統芸能に触れられる貴重な場所。教え子の子どもが親になり、その子どもたちも稽古に来てくれていますし、次の世代に繋がっていると感じます。



大蔵流狂言師 茂山宗彦さん

地元の宝に気付くことができた

狂言の舞台は、7月に開催の名張能楽祭が10年ぶり。今回の演目は初めてなので新鮮な気持ちです。子ども狂言の会があったので、地元がすごいところだということに気付けた。先生もすごい方です！名張能楽祭では気持ちを込めて演じたいと思います。



名張能楽祭で「鬼瓦」を披露  
小谷素子さん



新型コロナ 感染者急増

感染拡大地域への移動は避けて！

体調に異変⇒人との接触を避けて！

大人数・長時間の飲食を避けて！

家庭内でも感染対策の徹底を！



名張市 新型コロナ 特設サイト